

中国語における複合方向補語の派生義の習得 ——日本人中国語学習者を対象として——

崔 丹

キーワード 中国語 方向補語 派生義 外国語学習

1. はじめに

本稿は、日本人中国語学習者が複合方向補語の派生義を習得する過程の特徴を探り、学習者に見られる派生義の習得状況を包括的に分析するものである。日本人学習者にとって、派生義のどの用法が容易であり、どの用法が困難であるかを、選択問題と並べ替え問題の分析を通して明らかにしたい。また、学習者の誤用の傾向や原因を探り、その実態から中国語教育における効率的な指導法の提示を試みたい。

2. 研究方法及び調査内容

今回の調査の主な目的は、日本人学習者の複合方向補語の派生義の用法に対する理解の度合いを把握することにある。アンケートは、愛知県の大学に在籍している日本人中国語学習者 100 名を調査対象として実施した。学習者は全員中国語の学習歴が 2 年以上で、大学の授業ではテキストとして『中国語の文法書』（相原茂等著、同学社、1996.6）を使用しており、その中の第 27 課「方向補語の派生義」はアンケート実施時点においては学習者には既習項目となる。学習者のレベルは、中国語検定試験の、準 1 級合格者 7 名、2 級合格者 9 名、3 級合格者 59 名、未受験者 17 名であり、これは中上級に相当する。2014 年 6 月から 10 月の間に授業において、一回 30 分ほどの時間を使い、延べ 3 回アンケート調査を実施した。回答に当たっては、教科書や辞書等を使用しないこととし、92 件を回収することができた（回収率は 88%）。

質問内容については、1994 年に北京大学出版社から出版された《中高级对外汉语教学等级大纲》（词汇・语法）212 ページに掲載されている複合方向補語の派生義を参照した。各方向補語派生義の用法の数及び使用頻度も考慮し、本研

究の対象の範囲を“起来、下去、下来、出来、过来”の5つに限定した。アンケート調査は二部構成である（本稿末尾に「資料1」として添付）。第1部は選択問題で、第2部は語句を正しい語順に並べ替える問題である。それぞれ意味上、構文上の観点から調査した。また、出題にあたり、語彙の範囲は《汉语水平词汇与汉字等级大纲》(1992)から、中級から上級に相当するレベルのものを選んだ。

3. 分析結果

3.1. 分析(1)

第1部は選択式で、全部で20問ある。正答となりうる5つの補語のほかに、ダミーとなる選択肢として方向補語“出去、过去”を加えて、“起来、下来、下去、出来、出去、过来、过去”の7つから適切な言葉を選んでもらった。なお、方向補語が必要ないところには「×」をつけることが正解となる。20問のうち、問題5と問題14は方向補語を必要としない表現であり、「×」が正解である（資料1参照）。第1部の解答結果は表1の通りである。

表1 第1部の解答結果

方向補語	問題番号	フレーズ	正解人数	正解率
起来	問題1 (評価)	说起来 做起来	77	84%
	問題10 (記憶)	想起来	52	56%
	問題11 (開始)	笑起来	58	63%
	問題17 (集中)	收拾起来	53	58%
下去	問題3 (継続)	学下去	71	78%
	問題9 (収容)	吃不下去	46	50%
	問題13 (変化)	瘦下去	28	30%
下来	問題4 (継続)	流传下来	38	41%
	問題8 (変化)	静下来	35	38%
	問題16 (完成)	跑下来	16	17%
	問題19 (決定)	定下来	34	37%
	問題20 (固定)	记下来	47	51%
出来	問題2 (識別)	看出来	34	37%
	問題7 (脱出)	走出来	28	30%
	問題12 (産生)	写出来	35	38%

过来	問題 6 (回復)	醒过来	39	42%
	問題 15 (能力)	忙过来	39	42%
	問題 18 (辛抱)	熬过来	16	17%

① “起来”について

“起来”の各用法の正解率は評価義 84%、開始義 63%、集中義 58%、記憶義 56%となっており、学習者の習得度は全体的によいと判断できる。

問題 1 这件事说____容易, 做____难。[この件は言うのは易しいが、やるのは難しい。] (正解は“起来”) (アンケート調査時には各問題に日本語訳は付けていない)

この問題の正解率は 84%で、今回の調査では最も高い正解率の問題である。日本語では「食べてみる」「見てみる」など「～してみる」という表現があるため、それに該当する中国語の表現“吃起来”“看起来”などのフレーズを熟語として記憶しているものと思われる。学習者は“起来”の表す評価義についてはほぼ問題なく習得できていると思われる。

問題 10 到了车站我才想____没带手机。[私は駅に着いたときようやく携帯を忘れたことを思い出した。] (正解は“起来”)

“想出来”と誤答した者が 31%を占めている。日本語の「思い出す」「思い出す」はそれぞれ“想起来”“想出来”であるが、前者は忘れていたことを「思い出す」のに対し、後者の“想出来”は「発見・識別」を表すものである。この場合、「方法、アイディア、理由」などそれまで存在していなかったものがしばしば目的語になる。

問題 11 听他这么一说, 大家都笑了____。[彼のこのような発言を聞くと、みんなは笑い出した。] (正解は“起来”)

この問題の正解率は 63%で、「×」を選んだものが 13%であった。「×」を選んだ場合の“笑了”という表現も文法上可能ではあるものの、本調査では方向補語を選択するように指示した上で、必要がないところのみ「×」を記入するよう指示してあるので、「×」は正答とは認められない。方向補語のない“大家都笑了”では「笑う」という行為自体が表現されているのに対して、“起来”を用いた文では「笑い始めてから、今現在笑っている最中である」という状況が描写される。この問題からは、方向補語を用いることが可能な表現が学習者に十分に把握されていないことが窺える。

問題 17 要下雨了, 快把衣服收拾____。[もうすぐ雨が降るから、急いで洗濯

物を片付けよう。]（正解は“起来”）

この問題の正解率は57%であった。誤答として“下来”を選択したものが15%見られる。丸尾（2008：349）は「“收、收拾、藏、躲、留[残しておく]、扣、埋、关[閉じ込める]、抓[つかまえる]”などを“V起来”の形で用いた場合については、その「出現」を『新たな事態の形成』（整顿、隠蔽、拘束など）として捉える」ことができると述べている。学習者は收拾[片づける]という動詞を知っていても、“起来”と組み合わせる発想がまだ身についていないようである。こうした“起来”の「集中義」を把握することは、日本人の学習者にとって、一概に容易なことだとは言いきれない。

② “下去”について

“下去”の3つ用法の正解率は継続義78%、収容義50%、変化義30%であった。継続義については、学習者はよく理解できていると言える。一方、収容義と変化義については50%以下の学習者しか習得できていない。同じ方向補語でも、用法によって学習者の習得に差があることが分かる。

問題3 我已经学了两年汉语了，我还要学_____。[私はすでに2年間中国語を勉強してきた。これからも引き続き勉強を続けていきたい。]（正解は“下去”）

この問題の正解率は78%であった。“下去”の代表的な派生義としては継続義が挙げられる。これは「現在から未来への継続」を表すものである。選択肢“下来”も継続義ではあるが、こちらの場合は「過去から現在までの継続」を表している。アンケートの解答を見てみると、“下来”を選択した者は2%であった。継続義においては学習者が“下去”と“下来”を使い分けしていることが窺えた。

問題9 你要是吃不_____，就别吃了。[もし食べられないならば、食べなくてもいい。]（正解は“下去”）

この問題の正解率は50%であった。フレーズ“吃不下”の表す意味について、『中日辞典』第2版（小学館）2003年：203ページには次のような記述がみられる。

【吃不下】（満腹で）食べられない／（病気などで）食物がのどを通らない“下去”の一つの意味として「収容義」が挙げられる。この意味について、丸尾（2014：94）は、「人間の身体はメタファー研究において、往々にして容器に喩えられる」とした上で、「『おなかいっぱい食べられない』ことを表すのに日本人学習者が真っ先に思い浮かべるフレーズは“吃不下”ではなく、“吃不了”である。（中略）といった要因から、実際には“吃不下”を空間的な収容義とリンクさせるのは、日本人学習者にとって、一概に容易なことだとは言いきれない」と述べている。今回の調査でも正解率が50%にすぎなかったこ

とから、学習者にとって容易なことではないことが窺えた。

問題 13 他不适应国外的生活，一天一天地瘦_____了。〔彼は外国の生活に慣れないため、日に日に痩せていく。〕（正解は“下去”）

この問題の正解率は30%であった。“下来”と解答した者が20%であった。“下来”は誤答とは言えないものの、文の最初に「彼は外国の生活に慣れないため」という前提が提示されているため、“下来”よりも“下去”のほうが適切である。“下来”と“下去”は両者ともに変化を表す派生義を持つが、一般的に“下来”は近距離の物事や目の前の事象の変化を表すのに対し、“下去”は遠距離の事象の変化、もしくは「下落、低迷、墮落」等の消極的意味の言葉と組み合わせられる。学習者は、このような方向補語の派生義の細かな差異に気付いていないものと思われる。

③ “下来”について

問題4の継続義、問題8の変化義、問題16の完成義、問題19の決定義、問題20の固定義の5つの意味項目から、学習者の“下来”に対する理解度を調査した。

問題4 这是古代流传_____的一个神话故事。〔これは古代から伝わってきた神話である。〕（正解は“下来”）

この問題の正解率は41%であった。「×」及び“过来”を選択した学習者がそれぞれ17人と24人であった。“下来”の代表的な派生義としては継続義が挙げられる。しかし今回の調査では、正解率は50%に到達せず、学習者は派生義の用法をまだ正確に把握していないということが分かった。同じ継続の意味である問題3の“下去”の正解数が78%であるにもかかわらず、“下来”は41%であり、正解率に開きが見られた。この問題において、同じく継続義を指す“下去”を選択した者は3%にすぎなかったことから、誤答の原因は“下来”と“下去”の混同ではなく、“下来”と“流传”の組み合わせが分からないことだと思われる。

問題8 教室里突然静了_____，原来是老师来了。〔教室は急に静かになった。先生が来たからだ。〕（正解は“下来”）

この問題の正解率は38%であった。学習者の回答を見てみると、“起来”を選択した者が17%であった。“下来”と“起来”は形容詞と結びつくと、前者は「動」から「静」へ、後者は「静」から「動」へと変化する。この違いを学習者は理解できていないと言える。

問題16 今年的马拉松比赛我终于跑_____了。〔今年のマラソンで私はようやく完走することができた。〕（正解は“下来”）

問題 16 の“跑下来”については、わずか 17%の正解率であって、今回の調査で最も正解率が低かった。学習者の誤答はそれぞれの選択肢に分散した。“跑”は中国語初級段階でも出てくる基本語であり、また“终于”[ようやく]を“下来”を導くための手がかりとして設定したにもかかわらず、正解率はこのように低かった。このことから、学習者における動作が完了するまでの全過程を表す“下来”の表現は、中上級においても習熟度が低いと考えられる。

問題 19 工作的事儿已经定了。[仕事の件はもう決まった。]（正解は“下来”）

この問題の正解率は 37%であった。「×」を選択した者が 23%であった。“工作的事儿已经定了”という文は非文ではないが、学習者は方向補語を後続する必要がないと判断したため、本調査では問題 11 と同様に誤答とした。この問題においても、問題 11 と同じように、一定数の学習者は方向補語を選ばなかった。しかし、これは日本語の干渉によるものと考えられる。“定”と“定下来”は日本語に訳すと同じく「決まる」という意味になる。そのため学習者の中では、方向補語が必要であるという意識が薄くなっており、使うべき方向補語を使えない状態であると思われる。

問題 20 上课的内容都记了。[授業の内容はすべて書き記した。]（正解は“下来”）

この問題の正解率は 51%であった。“记下来”は教室でよく使われる表現の 1 つである。学習者にとっては馴染み深い言葉で、一つのフレーズとして覚えていたと思われるが、51%の正解率からみると、定着しているとはいえない状態であった。第二言語習得では、教師が指示を与える際に目標言語を使うことがあるが、ただ目標言語で指示を出すだけではなく、学習段階に応じて指示表現内で用いられている文法についても説明していくことが必要だと思われる。

④ “出来”について

問題 2 の識別義、問題 7 の脱出義、問題 12 の産生義については、それぞれの正解率は 50%以下になる。正解率の高い順から産生義 > 識別義 > 脱出義となっている。

問題 2 他看妈妈有点儿不高兴了。[彼はお母さんがすこし機嫌が悪いことに気が付いた。]（正解は“出来”）

この問題の正解率は 37%であった。42%の学習者は“起来”を選択している。動詞“看”は“起来”“出来”のどちらとも組み合わせることができる。問題 2 の主語“他”がなければ“看起来”が適切であるものの、問題 2 の場合は主語“他”があるため、「識別・判断」を表す“看出来”の方が適切である。

問題 7 我终于从痛苦中走了。[私はようやく苦痛から抜けられた。]（正解は“出来”）

この文は、“从痛苦中”を起点として、“私”が“苦痛”の中から抜けるという構図で理解される。今回抽象的なものの中から抜け出すという状況を設定したせいもあって、正解率は30%にすぎなかった。具体的な例を用いた場合に学習者の正解率が向上するかを調査し、今後の分析課題としたい。

問題 12 毕业论文你能在1月前写了吗？[卒業論文、1月までに出来上がりそう？]（正解は“出来”）

この問題の正解率は38%であった。“下来”を選択した学習者が25%見られた。“出来”と“下来”は“写”と組み合わせると、前者は新しい事物の出現を表す。つまり、論文が「無」の状態から「有」の状態に変わることを表すのである。後者は書き留めておくという意味を表す。つまり、書く内容はすでに存在しているという意味合いを持つ。このように、同じ動詞で異なる結果を表す補語を伴い、異なる意味を表すことができる。学習者はこの2つの派生義を区別できず、単に2つの組み合わせがあることを覚えているにすぎず、前後の文脈による正確な選択ができていないことが分かった。

⑤ “过来”について

“过来”は5つの方向補語の中で、正解率が最も低かった。問題6の回復義、問題15の能力義、問題18の辛抱義の3つの用法について習得状況を調査した。それぞれの正解率は42%、42%、17%であった。

問題 6 我昏睡了两天,终于醒了。[私は二日間昏睡状態に陥って、ようやく意識が戻った。]（正解は“过来”）

“过来”の代表的な派生義として回復義が挙げられるが、今回の回答を見てみると、23%の学習者が必要ないと考え、「×」を付けている。（「×」は問題11同様不正解。）補語のない“醒了”は目が覚めるという意味になるが、“过来”と組み合わせた“醒过来”は昏睡状態から正常状態へ戻ることを表し、相手に回復過程であることをはっきり伝えることになる。

問題 15 他一个人能忙吗？[彼は忙しくても（仕事などを）一人でこなせる？]（正解は“过来”）

この問題の正解率は42%であった。“忙不过来”は忙しくて（仕事などを）手が回らない状態を指す。“忙得过来”や“忙过来”は忙しくても、ある程度のところまで仕事が進んでいる状態である。“忙过来”は中国人同士の会話ではよく出る言葉であり、学習者はしばしば耳にするとと思われる。調査者は、“过来”の用法が詳しく分からなくても、“忙过来”をひとかたまりの語句として覚えてい

るだろうと考え出題したものの、正解率は半分にも満たなかった。

問題 18 那段日子你是怎么熬_____的？[あの頃あなたはどのようにして困難な状態から抜けられたの？]（動詞“熬”には注釈あり）（正解は“过来”）

この問題の正解率は17%であり、第1部の18問の中で最も正解率が低かった。文中の“那段日子”が過去のことを明示しているにもかかわらず、誤って“下去”を選択した学習者が35%いた。その原因は“过来”と“下去”の混同とも考えられるが、“过来”の「辛抱義」になじみがないものとも考えられる。

3. 1. 2. 第1部のまとめ

以上の調査の正解率に基づくと、習得の難易度は以下のように考えられる。

A ブロック

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ① “起来”の評価義 | ② “下去”の継続義 | ③ “起来”の開始義 |
| ④ “起来”の集中義 | ⑤ “起来”の記憶義 | ⑥ “下来”の固定義 |
| ⑦ “下去”の収容義 | | |

B ブロック

- | | | |
|------------|------------|------------|
| ⑧ “过来”の回復義 | ⑨ “过来”の能力義 | ⑩ “下来”の継続義 |
| ⑪ “下来”の変化義 | ⑫ “下来”の決定義 | ⑬ “出来”の識別義 |
| ⑭ “出来”の産生義 | ⑮ “下去”の変化義 | ⑯ “出来”の脱出義 |

C ブロック

- | | |
|------------|------------|
| ⑰ “下来”の完成義 | ⑱ “过来”の辛抱義 |
|------------|------------|

A ブロックに分類している方向補語は正解率が50%以上で、習得しやすい文法項目である。同じく日本人学習者を調査対象とした錢旭菁（1997）の研究と比較してみても、方向補語の派生義に関する学習者の習得の難易度はほぼ同じ結果で、“起来”の開始義、評価義と集中義、“下去”の継続義、“下来”の変化義が習得しやすいと述べられていた。B ブロックは正解率が50%未満30%以上で、一部の学習者にとっては比較的理解度が高い文法項目である。もう少し学習が進むことによって、B ブロックの補語も理解できるようになると思われる。初級中級の学習者に対しては、B ブロックまでの方向補語の指導が必要である。最後の C ブロックは正解率が低いため時間をかけて学習しなければならない。B ブロックまでの方向補語を覚えた上で、C ブロックの内容を徐々に導入する必要がある。また、学習者の理解を促すために、教師はより詳しい説明が必要であると考えられる。一方、A ブロックは学習者にとって簡単な用法であるため、簡潔な説明で十分だと思われる。教師は限られている学習時間をより効率的に利用し、バランスを取れる教育方法を考える必要がある。

教育の現場においては、全てのことを学習者に示すのではなく、基本的な有用性のある点に絞って提示することが必要である。上に挙げた方向補語の中で、一つの方向補語の、全ての用法を一度にまとめて提示すると、学習者にとっては負担が大きく、基本的な用法ですら覚えられないということが懸念される。教員は A・B ブロックの方向補語を段階的に提示し、用例文や練習問題などと結び付けて、総合的な方向補語の教授法を構築すべきであろう。

また、方向補語を含む文と含まない文がともに正文である場合、一定数の学習者に方向補語を使用しない傾向が見られた。本調査で取り上げたこのような方向補語の文は 3 例のみであるため、より詳細な調査を行う必要があるだろう。

3. 2. 分析 (2)

第 2 部は並べ替え問題で、10 問ある。各問ではランダムに語句を示して、学習者に正しい語順への並べ替えを行ってもらった。主に複合方向補語に目的語を伴う場合と伴わない場合に、学習者が正しい文を作れるかどうかを考察した。本研究では《現代汉语八百词》の分類を参照し、調査内容を以下のように分類した (V: 動詞、C: 方向補語、O: 目的語)。

- ① 目的語がない場合：無目的語型 $V+C_1+C_2$
- ② 目的語を補語の間に置く場合：中目的語型 $V+C_1+O+C_2$
- ③ 目的語を補語の後に置く場合：後目的語型 $V+C_1+C_2+O$
- ④ 可能補語型： $V+不+C_1+C_2$
- ⑤ 処置文型：把+O+V+C₁+C₂

表 2 第 2 部の解答結果

表示	問題番号	模範解答	正解人数	正解率
① $V+C_1+C_2$	問題 7	住下去	42	45%
	問題 9	阴下来	70	76%
② $V+C_1+O+C_2$	問題 3	聊起天来	22	23%
	問題 8	跳起舞来	30	32%
③ $V+C_1+C_2+O$	問題 4	想出来一个办法	77	83%
	問題 6	救出来一个男孩	74	80%
④ $V+不+C_1+C_2$	問題 2	忍不下去	38	41%
	問題 10	想不起来	62	67%
⑤ 把+O+V+C ₁ +C ₂	問題 1	把电脑和手机连接起来	79	85%
	問題 5	把开幕式录下来	81	88%

アンケート調査の結果からみると、第2部は第1部と比べて、正解率が高く、学習者が方向補語と目的語の位置関係をよく把握していることが分かった。ただ、②のタイプである問題3と問題8の正解率は23%と32%にしか達していない。V+O+C₁+C₂、V+ C₁+C₂+O、C₁+C₂+V+Oのような誤用が見受けられたことから、学習者は目的語を補語の間に置くという並べ方に慣れていないものと思われる。以下、5種類10問の並べ方を個別に分析していく。

① 無目的語型

問題7の正しい語順は“我不想在这里住下去了。”であるが“*我在这里不想住下去了。”“*我不想住在这里下去了。”とした誤用が多く見られた。この問題から学習者が介詞構造“在这里”、方向補語“住下去”と助動詞“想”の間の位置関係を正しく把握できていないと言える。また、ここでは英語の前置詞句と同じ語順で“主語+動詞句+前置詞句”のように中国語を並べてしまう学習者が多かった。原因として、既習外国語の知識が負の転移となって現れているのではないかと考えられる。

問題9“天阴下来了。”あるいは“天阴了下来。”どちらも正解である。学習者の誤用を見てみると、“*阴天下来了。”という誤用が最も多い。学習者は“阴”という単語を“阴天”という名詞を連想してしまっているのではないかと思われる。中国語では“阴”が形容詞なので、「名詞+“下来”」の並び方ではなく、「形容詞+“下来”」の並び方が正解である。

② 中目的語型

この項目は、学習者における離合詞と目的語を伴う複合方向補語の認識について分析するために設定した。問題3と問題8の正解はそれぞれ“我和一个老人高兴地聊起天来。”と“大家听到音乐就跳起舞来。”である。離合詞は中国語学習において難点の1つと言われており、複合方向補語が目的語を伴う場合、学習者は目的語をどこに置くか戸惑いがちある。今回、学習者の誤用は、“*聊天起来”“*聊起来天”、及び“*跳起来舞”“*跳舞起来”に集中した。これらの誤用の比率が他の問題と比べて高い原因も“聊天”“跳舞”“洗澡”が離合詞であることにありと考えられる。調査結果によると、“聊天”の直後に“起来”を並べて、“聊天起来”“跳舞起来”としている学習者が多いことから、学習者は離合詞+補語を一つのまとまりと捉えており、切り離して使うことができていないようである。

また、“聊起来天”“跳起来舞”のように並べたものがそれぞれ13%と26%であった。これは、方向補語を離合詞の間に置くことが分かっているにもかかわらず、正しい語順で述べることができなかったものである。更に、“起来聊天”“起来跳舞”

のような間違いはそれぞれ8%と1%と低かった。

③ 後目的語型

問題4の正解は“他想出来了一个办法。”あるいは“他想出一个办法来了。”である。問題6の正解は“从洞穴里救出来一个男孩。”または“从洞穴里救出一个男孩来。”である。目的語が「数量詞＋名詞」の場合には、その目的語を補語の後に置くのが一般的である。“動詞＋出来＋名詞”は動作の実現あるいは生み出した結果を表す表現であり、発話時完了していることを表す。一方、“動詞＋出＋名詞＋来了”は発話時には動作がまだ継続中であることを表している。本調査では二つの回答を正解と認める。目的語の文中の位置によって、動作がどの段階に置かれているかを表すことができる。このような細かい違いは学習者にとって理解が困難である。

④ 可能補語型

問題2と問題10の正解は“我再也忍不下去他的性格了。”と“我想不起来他叫什么名字。”である。多くの誤答は“不”を“*不忍下去”のように動詞の前に置いてしまったものである。中国語の初級段階では学習者は否定文として“不＋動詞”あるいは“不＋助動詞＋動詞”の語順を学習するが、今回はこれを可能補語の否定形にも適用しようとし、“*不想起来”とした誤用が目立った。可能補語の否定形は全体的に難しかったようで、ほぼ半数の学習者が理解できていない状態であった。

趙金銘(1997)の統計によれば、実際に中国人が使用する可能補語の肯定形対否定形の割合はおよそ1対30であり、否定形の使用が圧倒的に多い。したがって、可能補語の教授において、補語の基本形は肯定形から始め、その後否定表現の順序で教える方法は学習者にマイナスの影響を及ぼし、誤用を引き起こす可能性が高くなると考えられる。

⑤ 処置文型

問題1と問題5は処置文型である問題1は85%の正解率、問題5は88%の正解率に達しており、全体的に処置文の理解度は高い。これはOの位置について中目的語型、後目的語型いずれのタイプを選択するべきかで迷う必要がないからであると思われる。問題1の正解は“我把电脑和手机连接起来了。”または“我把电脑和手机连接了起来。”である。

3. 2. 1. 第2部のまとめ

第2部の複合方向補語を伴う文の並べ替えの正解率は高いほうから「処置文型>後目的語型>無目的語型>可能補語型>中目的語」の順であった。第1部に出てきた問題と同じ方向補語の派生義であっても、第2部では正解率が極端に下がった問題があった。“起来”の開始義として出題した第1部の問題11に

については、正解率は63%であった。一方、第2部の問題3と問題8も同じく“起来”の開始義であるが、正解率は22%と30%にすぎなかった。このことから、学習者は単語として意味が分かっているものであっても、必ずしも文中で使いこなせるわけではないということが分かる。教師は方向補語を教授する際に、単語の意味を教えるだけでなく、構文の中で用いられる表現も教えるなど、実際の文章において使用できるように教えるべきだと思われる。

4. 終わりに

本研究はアンケート調査を通じ、中国語の方向補語の派生義の習得状況を考察した。今回の使用実態を考察した結果を元に、中国語教育においては、方向補語を効果的に指導するために、次の3点を提案したい。

第一に、中上級の学習者に対しても、教師は方向補語を継続的に指導することが必要である。これは、中上級になっても方向補語の習得が十分でない様子が窺えたためである。

第二に、日本語との相違点をより明確に提示し、方向補語を積極的に導入する必要がある。学習者が方向補語を使いこなせるように、母語との比較を適宜導入するといったような工夫をする。

第三に、方向補語の意味だけを理解している状態では不十分であり、文脈の中で練習させることが必要である。

今回のアンケート分析を通じて、学習者の誤用の原因についていくつかの示唆を得ることができた。しかし、今回の調査は中部地区の1つの大学で行われたものであり、普遍性を有すものではない。今後、今回の調査結果に基づき、設問を再考したうえで調査対象をさらに拡大し、引き続き研究を行っていきたい。

5. 参考文献

- 丸尾誠「中国語における「開始義」について—方向補語“起来”の用法を中心に—」『言語文化論集』第二十九巻二号、三四四七～三百六十頁、名古屋大学大学院国際言語文化研究科、2008年。
- 丸尾誠「中国語の方向補語“下(来/去)”の派生的用法について:「量」の概念との関連から」『言語文化論集』第三十五巻二号、八十三～九十七頁、名古屋大学大学院国際言語文化研究科、2014年。

钱旭菁〈日本留学生汉语趋向补语的习得顺序〉《世界汉语教学》第1期,九十四～一百零一頁、1997年。

赵金铭《汉语研究与对外汉语》语文出版社、1997年。

『中日辞典』第二版小学館、2003年。

《现代汉语八百词》吕叔湘主编、商务印书馆、2009年。

《中高级对外汉语教学等级大纲》北京大学出版社、1994年。

《汉语水平词汇与汉字等级大纲》经济科学出版社、1992年。

資料 1

アンケート調査

氏名： 性別： 年級：
中国語はどのくらい勉強されていますか？ _____
HSK _____級 中検 _____級

一 “起来、下来、下去、出来、出去、过来、过去” を用いて空欄を埋めなさい。必要がないところには「×」を入れなさい。

1. 这件事说 _____ 容易，做 _____ 难。
2. 他看 _____ 妈妈有点儿不高兴了。
3. 我已经学了两年汉语了，我还要学 _____。
4. 这是古代流传 _____ 的一个神话故事。
5. 昨天我买 _____ 了一个西瓜。
6. 我昏睡了两天，终于醒 _____ 了。
7. 我终于从痛苦中走 _____ 了。
8. 教室里突然静了 _____，原来是老师来了。
9. 你要是吃不 _____，就别吃了。
10. 到了车站我才想 _____ 没带手机。
11. 听他这么一说，大家都笑了 _____。
12. 毕业论文你能在 1 月前写 _____ 吗？
13. 他不适应国外的生活，一天一天地瘦 _____ 了。
14. 我给他写 _____ 了一封信。
15. 这么多工作，他一个人能忙 _____ 吗？
16. 今年的马拉松比赛我终于跑 _____ 了。
17. 要下雨了，快把衣服收拾 _____。
18. 那段日子你是怎么熬 _____ 的。 (熬: 辛抱する)
19. 工作的事儿已经定 _____ 了。
20. 上课的内容都记 _____ 了。

二 次の語句を意味が通るように並べ替えなさい。

1. 起、来、电脑、我、了、连接、和、手机、把
_____。
2. 下、去、忍、他、不、了、的、性格
我再也_____。
3. 起、来、一个老人、高兴地、和、聊、天
我_____。
4. 出、来、了、想、个、办法、一、他
_____。
5. 下、来、北京奥运会、开幕式、他、把、录、的、了
_____。
6. 出、来、一个、从、洞穴里、救、男孩
解放军_____。
7. 下、去、我、在这里、不想、了、住
这里离学校太远了，_____。
8. 起、来、大家、跳、听到、音乐、舞、就
_____。
9. 下、来、天、阴、了
突然_____，要下雨了。
10. 起、来、不、他叫什么名字、想
我_____。

(実際に行ったものを一部変更した)

